

# オンラインイベント参加募集

## ロシア・中央アジア連続ウェビナー コロナ禍の2020年を回顧する — 経済と石油ガス産業への影響 — 開催のご案内

令和3年2月10日  
(一社)ロシアNIS貿易会

このたび(一社)ロシアNIS貿易会では、経済産業省の補助を受け、ロシア・カザフスタン・アゼルバイジャンの経済・エネルギー専門家による連続ウェビナー「コロナ禍の2020年を回顧する:経済と石油産業への影響」と題したウェビナーを、3月1日(月)、同3日(水)、同5日(金)の3日間にわたり実施します。

コロナ禍が収束する兆しは見出せず、2020年はグローバル化した世界にも関わらず、国際経済全体でかつてないレベルにて交流・物流が制限されました。石油ガス市場については昨年末からの厳冬に際してLNG需要が伸びていますが、全体として資源価格は低迷したままであり、ロシアや中央アジアなどCISの産油・産ガス国の経済は落ち込みを余儀なくされました。そして同時に政治情勢においても重要な出来事が相次いでおり、これら諸国と大国、周辺諸国との関係にも注目しなければならない状況が続いています。今回はこのような状況を踏まえた、経済・エネルギー・国際経済関係と多様な分野の現地専門家によるウェビナーとなります。講義テーマやプログラム、講師情報詳細については、別紙をご確認ください。

本オンライン事業はZoomを活用し実施致します。同アプリケーションの利用環境を確保願います。別紙を参照いただき、ご関心の向きは参加登録フォーム( [https://www.jp-ru.org/entry/?post\\_id=4556](https://www.jp-ru.org/entry/?post_id=4556) )より、2021年2月25日(木)日本時間18:00までにお申し込みください。

敬具

□日時: **2021年3月1日(月)、同3日(水)、同5日(金)**

**16:00~18:00終了予定(モスクワ時間: 10:00~12:00)**

□視聴方法: Zoom

(注)参加登録いただいた方のメールアドレスへウェビナーリンク用URLを2月26日(金)に一斉送信させていただきます。

□言語: 日本語版(通訳音声版)を配信

□お申し込み方法

**2021年2月25日(木)日本時間18:00までに、参加登録フォームからお申し込みください。**  
登録フォームリンク: [https://www.jp-ru.org/entry/?post\\_id=4556](https://www.jp-ru.org/entry/?post_id=4556)

【お申し込み・お問い合わせ先】

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 担当: 中居、長谷、森  
TEL: 03-3551-6218 E-mail: [seminar@rotobo.or.jp](mailto:seminar@rotobo.or.jp)

## 講師及び講演テーマ（予定）

### ●アゼルバイジャン及びカザフスタンの経済と石油産業

1) 1日目: 3月1日(月)

講義① I. シャバノフ アゼルバイジャン石油研究センター 所長

「コロナ禍の2020年を回顧する:アゼルバイジャンの経済と石油産業への影響」

講義② O. チェルピンスキー PETROLEUM Journal LTD 編集長

「コロナ禍の2020年を回顧する:カザフスタンの経済と石油産業への影響」

### ●コロナ禍とロシア経済・国際関係

2) 2日目: 3月3日(水)

講義① V. ツヴェトコフ ロシア科学アカデミー市場問題研究所 所長

「2020年のロシア経済:主要指標の動向と今後の見通し」

講義② A.ガブエフ カーネギー・モスクワセンター シニア・フェロー 兼 同センター「アジア・太平洋地域におけるロシア」プログラム代表

「コロナ禍におけるロシアの東方政策」

### ●2020年ロシアの石油ガス産業

3) 3日目: 3月5日(金)

講義① S. サヴシキン 独立系石油ガス産業アナリスト(元「石油と資本」誌編集長)

「ロシアとOPEC関係」

講義② M. ベロヴァ Vygon Consulting 調査部長

「ロシアのLNGプロジェクト:2020年の成果と2021年の展望」

\*プログラムについて、より詳細な情報は別紙をご覧ください。

(以上)

# ロシア・中央アジア連続ウェビナー コロナ禍の2020年を回顧する — 経済と石油ガス産業への影響 — 実施要領

## 1. 基本事項

- (1) 案内状に記載あります通り、本事業はZoomを活用した動画配信により実施するオンラインイベントです。視聴参加にあたっては、Zoomの利用環境を確保されるようお願いいたします。
- (2) 参加登録いただいたみなさまへ本事業視聴参加のためのウェビナーリンクURLを2月26日(金)に一斉送信致します。参加登録したにもかかわらず、前日にURLが届いていない場合は3月1日日午前中までにご連絡いただけますようお願い致します。
- (3) 動画の言語については、日本語(通訳音声)版を配信致します。
- (4) 本事業は3月1日(月)16:00~からスタート致します。それまでに上記(2)の要領でお知らせするウェビナーリンクからアクセスし、視聴できる準備を行ってください。本事業のプログラム(予定)は以下2.を参照願います。
- (5) 今般連続ウェビナーでは計6名の講師が、3月1日、3日、5日に各日2名ずつ講義を実施します。どのような順で実施されるかについてはプログラムをご確認ください。
- (6) なお、3月1日、3日、5日それぞれについてウェビナーリンクは異なります。2月26日にこれら3日それぞれのリンクを参加登録いただいた方に一斉送信しますが、当日はリンクをお間違え無きようお願いいたします。
- (7) 講師との質疑時間も設けます(日口逐次通訳)。

## 2. プログラム(予定)

### 1) 1日目: 3月1日(月)

講義① I. シャバノフ アゼルバイジャン石油研究センター 所長

「コロナ禍の2020年を回顧する:アゼルバイジャンの経済と石油産業への影響」

講義② O. チェルビンスキー PETROLEUM Journal LTD 編集長

「コロナ禍の2020年を回顧する:カザフスタンの経済と石油産業への影響」

### 2) 2日目: 3月3日(水)

講義① V. ツヴェトコフ ロシア科学アカデミー市場問題研究所 所長

「2020年のロシア経済:主要指標の動向と今後の見通し」

講義② A.ガブエフ カーネギー・モスクワセンター シニア・フェロー

「コロナ禍におけるロシアの東方政策」

3) 3日目: 3月5日(金)

講義① S. サヴシキン 独立系石油ガス産業アナリスト(元「石油と資本」誌編集長)

「ロシアとOPEC関係」

講義② M. ベロヴァ Vygon Consulting 調査部長

「ロシアのLNGプロジェクト:2020年の成果と2021年の展望」

\*3月1、3、5日のいずれも以下の時間付けで進行する予定です。各講師の講義時間により若干前後する可能性があります。

時間	項目(予定)
16:00~16:02	開会:司会挨拶、講師紹介 *司会は(一社)ロシアNIS貿易会代表者
16:02~16:42	講義①
16:42~17:00	講義①質疑応答
17:00~17:40	講義②
17:40~17:58	講義②質疑応答
17:58~18:00	閉会
	*質疑応答時間により、終了時刻が伸びる可能性があります。

### 3. 講師紹介 (講演順)



#### 1) イルハム・シャバノフ アゼルバイジャン石油研究センター 所長

●カスピ海地域における石油・ガス分野の著名な研究者。2003年に自身で創設したアゼルバイジャン石油研究センターの所長を務め、同センターの公式ウェブサイト『Caspian Barrel』では、カスピ海地域の石油・ガス情報を幅広く発信している。同分野の専門家として国内外で高い評価を得ており、様々なメディアにおける多数の出演経歴をもつ。



#### 2) オレグ・チェルビンスキー PETROLEUM Journal LTD 編集長

●2000年にアルマトィで創刊したカザフスタン石油・ガス分野の代表的なビジネス専門誌『Petroleum』編集長。同国独立後初の石油・ガスメディア『カザフスタンの石油・ガス』誌の創設者兼編集長。カスピ海地域の石油・ガス問題の専門家として分析・論評を新聞等国内・海外メディアで発表している。

**3) ヴァレリー・ツヴェトコフ ロシア科学アカデミー市場問題研究所所長**

●ロシアのマクロ経済分析を中心に、250以上の論考を執筆・共同執筆。ロシア科学アカデミー内にて、ロシア経済近代化プログラムの分析を主導してきた。このため、経済分析のみならず、デジタル分野等、新規産業振興政策にも精通している。

**4) アレクサンドル・ガブエフ カーネギー・モスクワセンター シニア・フェロー**

●専門はロシアの対東アジア外交・通商政策、中国政治および同国の近隣外交。ロシアの有力紙「コメルサント」の記者としてキャリアを開始、メドヴェージェフ大統領(当時)のプレステーム・メンバー、「コメルサント・ヴラスチ」副編集長等を歴任。日ロ関係にも詳しく、日本のメディアにも度々コメントを寄せている。

**5) セルゲイ・サヴシキン 石油ガス産業アナリスト(元「石油と資本」誌編集長)**

●長くロシア専門誌「石油と資本」誌編集長・社長としてロシア石油ガス産業に係る分析記事を様々な媒体で執筆。また、実際の大規模プロジェクトにおいてもコンサルティングを多数行ってきた経歴があることから、近年はその経験を活かし、外資系企業を対象に独立系アナリストとして活躍。

**6) M. ベロヴァ Vygon Consulting 調査部長**

●ロシアの石油ガス産業、特にLNG産業の分析において、近年のロシアメディアで最も露出の多い専門家の一人。ロシア内外の媒体で著作多数。現在は、ロシアでエネルギー産業専門コンサルティング企業として知名度を上げるVygon Consultingの調査部門を統べている。